



未来の
ために、
いま選ぼう。

資料6

日本版ナッジ・ユニットBESTの取組と 政策提言について(案)



Behavioral Sciences Team
for a better choice

平成30年12月12日

日本版ナッジ・ユニットBESTの取組一覧

<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/nudge.html>

1. 日本版ナッジ・ユニット連絡会議
産学政官民連携によるオールジャパンの議論の「場」
“open space for open discussion”、参加者持ち寄りのポットラック型討議
2. BITE (Behavioral Insights x Traditional Economics) (バイト)
科学的根拠の提供、施策の社会実装の支援、
「相談窓口」等をする"Evidence Institution"
 - ① 相談対応
 - ② 国内外におけるナッジ等の行動インサイトの活用事例紹介
3. BI-Tech (Behavioral Insights x Technology) (バイテック)
行動インサイトと技術の融合
4. 行動経済学会とのコラボレーション
 - ① 「ベストナッジ賞」コンテスト
 - ② 行動インサイト・アイデアソン
5. EBPM (エビデンスに基づく政策立案) と EBP (エビデンスに基づく実践) の好循環
(Evidence-based policymaking x Evidence-based practice)
6. 倫理的配慮の検討
7. 国内及び国際連携
8. これからのナッジについて (Beyond Nudge)



いただいたご意見に関する政策提言の実施について（案）

- ◆ 以下のような場合には、本連絡会議の成果として政策提言をとりまとめる対象にすることを検討してはいかがか
 - 複数の参加者から同旨の意見が述べられ、会議の回数を重ねるごとに議論が深化し、一定の共通認識が形成される課題
 - 行動インサイトが十分活用されておらず、活用することにより改善・解決が見込まれる社会や行政の課題 等
- ◆ 政策提言のとりまとめに当たっての留意点
 - 絵に描いた餅ではなく、食べられる餅になるよう、提言の受け手の状況、立場等を考慮すること
 - 参加者及び所属する組織によっては提言内容に同意しかねる場合も想定される。連絡会議全体の総意とするよりも、例えば有識者（+追加賛同者）のクレジットとすることも一案ではないか